

| No. | 項目 | 質問・意見 | 回答 |
|-----|--------|---|--|
| 1 | | 子ども達の多様性を社会全体が認めて行き、個を伸ばしていけば、社会とも関わりやすくなっていく、素晴らしいと思います。 | ご意見ありがとうございました。 肢体不自由などの「目に見える障がい」に対しては社会の理解が進んでいると思います。その一方で発達障がいのような「目に見えにくい障がい」に対しては、まだまだ誤解や偏見が残っています。これからの課題だと考えています。 |
| 2 | | 10年前からの学校看護師の派遣、素晴らしいと思います。特別の教育だけでなく、普通学級の子たちが、偏見・違和感をもちたくないような教育をお願いしたいです。 | ご意見ありがとうございました。 学校看護師の派遣など、制度を整えるとともに、「心のバリアフリー」を進めることが重要ですね。 |
| 3 | 特別支援教育 | 支援が必要なお子さんがひまわりクラブなどを利用する場合に職員の方が1人1人でいねいに対応しているのですが、やはりトラブルが発生することが多くなっています。学校だけでなく、ひまわりクラブなどのサポート体制はどのようになっているのでしょうか。 | ご意見ありがとうございました。 ひまわりと連携して、支援が必要なお子さんの居場所づくりを進めることを、各小学校に引き続き指導していきます。 |
| 4 | | インクルーシブ教育がより広まり、障がいへの偏見が少なくなったり、個別に応じた教育がより行われるようになると良いと思いました。 | ご意見ありがとうございました。 個に応じた教育を進めるためには、教職員の力量アップが不可欠です。教職員研修を充実させていきます。 |
| 5 | | 特別支援教育につながる支援、社会につながる支援について、教育委員会及び地域ぐるみ・社会の課題ととらえています。（またの機会に、又は、教育ミーティングにて）現状と課題についても、知らせていくことをお願いいたします。 | ご意見ありがとうございました。 2月18日には、当課の主催で「新潟市特別支援教育フォーラム」を開催し、保護者、市民、教職員、福祉関係者、医療関係者、大学関係者など約330人が参加してくださいました。今後も継続して情報発信をしていきたいと思っています。 |
| 6 | | 通級指導教室が、スムーズに実践されていて大変よいと思います。（地域の1人としての意見） | ご意見ありがとうございました。 通級指導教室の課題は、指導者の育成と、利用者の利便性の向上です。利便性の向上を図るためには、通級指導教室を増設する必要があるため、指導者の育成が不可欠です。この二つの課題を同時進行で計画的に進めてまいります。 |

| No. | 項目 | 質問・意見 | 回答 |
|-----|----------|--|--|
| 7 | 特別支援教育 | 特別支援学級の人数が増えている現状ではありますが、教員の人数が足りているのでしょうか。 | ご意見ありがとうございました。 教員の人数は足りているのですが、特別支援教育に関する専門知識が十分とは言えません。特別支援教育に関わる専門性をもった教員の養成が急務です。 |
| 8 | | 「特別支援教育課」新設に伴い国のトライアングルプロジェクトに基づき、切れ目のない実情に合った支援体制構築とその実効に期待。 | ご意見ありがとうございました。 トライアングルプロジェクトは、まだうまく機能していないところが多くあります。その原因の一つに、学校側が自信をもって福祉の専門家と向き合うだけの知識がないこと、自分たちの見立て、手立てに自信が持てないことがあると分析しています。切れ目のない支援の実現のためにも、教員の専門性向上は急務です。 |
| 9 | 部活動の地域移行 | 学校での指導であれば、気軽に参加出来る子ども達も、地域移行により、金銭的負担が交通の便だったり、断念せざるを得ない事態が出て来ると思いますので、出来るだけ負担の少ない形で出来る様をお願いしたいと思います。 | ご意見ありがとうございました。 子どもたちが参加する活動としては、保護者会を主体としたクラブ活動、協会や連盟が運営するスポーツ教室、民間企業が展開するクラブチーム、学校が準備を進めている地域運動活動・文化活動、と様々なものが想定されます。それぞれ、活動の目的や指導方針・方法・講師謝礼のための金額設定等は異なることが考えられます。お子さんが目指したいものを、地域特性等を踏まえ、ご家族で相談し選択・判断していくこととなります。 区でバレーボールチームを作り、土日の地域運動活動を進めていく計画を立てている地域もあります。 |
| 10 | | 学校の部活動が外部に行くという単純なものとは考えていないということがわかり安心しました。費用の面、送迎の面等、現状を上回る、子ども達の間性が育成されるような活動に移行していくことを期待しています。 | ご意見ありがとうございました。 モデル事業としてすでに実践検証している団体の様子を見ますと、他校の友達同士で競い合っている様子や、地域指導者のもとでキャプテンが的確に下級生に指示している姿を見掛けます。生徒へのアンケートから「専門的なことを学べる」「他校の生徒、地域の方や指導者と関わる機会ができた」等、肯定的に回答している生徒は全体の85%でした。 費用や送迎等の課題については事前に団体ごとに解決するなど、検討が必要です。 |
| 11 | | 部活動によっては、教職員が教えたいという先生もいらっしゃると思いますが、そういった先生が異動された場合に、子ども達の環境が急に変わることがあると思うのですが、そのような時に子ども達のサポートができるのか心配です。 | ご意見ありがとうございました。 これまでも、指導熱心な顧問が転出することは部活動指導に大きな影響があったと思います。 今後、教職員が休日の地域運動活動・文化活動に参加する場合は、自分で指導の場を選んで参画するようになります。これまで通り、自身が勤務する学校で休日の指導者として地域運動活動・文化活動に参加する方もいるかもしれませんが、自身の地元の地域で指導に当たる方もいると思われます。 様々なケースが想定されます。今後、指導者の確保等、検討していく必要があります。 |

| No. | 項目 | 質問・意見 | 回答 |
|-----|----------|--|--|
| 12 | | 部活動が地域移行していくことで、これまでの部活動のあり方と少し形が変わっていく面があることを知りました。一方で、例えば土日自由に使えるようになることで、家にこもってしまうなどは考えられませんか。自由に使えることはよいことだが、家でゲームをして終わりというようなことではあまり自由すぎるのも・・・と思いました。 | ご意見ありがとうございました。 体力の低下や生活の仕方は今後も話題となると思われます。身体と心の健康、どちらにも着目する必要があると考えます。健康的な生活を送ることの大切さも伝えながら、どのように過ごすことが良いのか、ぜひ各家庭でお子さんと一緒に考える機会にしてほしいと思います。 |
| 13 | | 地域移行概ね了解しました。各地域での意見調整の支援はよろしくをお願いします。 | ご意見ありがとうございました。 新潟市では、令和3年度からモデル事業が始まっています。今年度も4つの団体がモデル事業として活動を行ってきました。今後、各団体の取組について伝えさせていただき、それを参考にして各地域で新たな取組を検討していただけたらありがたいです。 |
| 14 | 部活動の地域移行 | 学校に於ける部活動の指導について、教職員以外の「保護者、地域の方、外部指導者」に依頼する考え方には、現状不明な部分が多過ぎて想像できない。今後、十分な熟慮の上、指導者の選考、保護者の意見を広く拝聴した上で、主役である「生徒の気持ち」も確認して欲しい。さらにトライアルを重ね、丁寧な説明と持続可能な方策を提案願いたい。 | ご意見ありがとうございました。 指導者の選考については、各団体や運営主体が、指導者に適任と思われる方に打診し、指導者としての依頼を受けてもらうこととなります。教育委員会としても、部活動指導で顧問が大事にしている「生徒の心情に寄り添った指導」、「そのらしさを引き出す声掛け」、「種目や活動の技能の向上」、「過熱した行き過ぎた指導の禁止」等について、地域運動活動・文化活動の指導者の方からも意識してもらいたいと考えています。 どのような方法になるか検討中ですが、関係市長部局と共に指導者による勉強会についても協議していき、実践検証を進めていきます。 |
| 15 | | 部活動が移行するにあたり、指導者の確保は地域で行うのか。 | ご質問ありがとうございました。 現在、中学校各校は、まずは学校や地域のネットワークを活用して指導者として適切な方がいないか、指導者の依頼先があるか検討しています。運営主体が確立し、指導者としての適任者が見つかれば、地域運動活動・文化活動に移行できる準備が整った学校・部から順に移行を進めていきます。 |
| 16 | | 指導者の支援金は市で補助があるのでしょうか。 | ご質問ありがとうございました。 令和4年度にモデル校として実践検証を行ってきた団体については、指導者の謝金等は国の委託金等を充ててきました。令和5年度も事業の内容は若干変わりますが、概ね同じ仕様となっています。また、国は受益者負担による会費徴収を視野に入れており、各自治体からは「国からの補助等が受けられないか」といった要望が上がっています。 |